



1 おおふなぼと (大船渡市防災観光交流センター)

JR大船渡駅前に立地しており、観光情報などを発信しているほか、市民や市外から来訪される方々の交流の場で、津波から逃げ遅れた場合に緊急的に避難する一時(いっとき)避難場所となります。

防災学習ネットワークにおける中心的な役割を担う施設であり、各施設の紹介を行うなど、ネットワークの窓口となっています。

所在地/大船渡町字茶屋前7-6
電話/0192-21-6001



2 大船渡津波伝承会 (おおふなぼと内) 非常設

地震津波の経験や教訓を次世代に伝えるため「あなたに助かってほしいから」をテーマにおおふなぼと展示室において不定期で活動しています。

人はなぜ津波で犠牲になるのか、どうしたら助かるのかについて、津波の映像や写真などで伝えているほか、語り部や紙芝居による読み聞かせも行っています。語り部の希望はメールで申し込みが必要です。

主会場 おおふなぼと展示室 (語り部・紙芝居は別室で対応)
E-mail oft.tsunami.museum@gmail.com



3 大船渡市立博物館

「大船渡その海と大地」をテーマとした気仙の自然と文化に関する総合博物館であり、東日本大震災をはじめ、過去の津波について学ぶことができます。

館内では、津波に関する資料や地震観測に使われた地震計などを展示しているほか、東日本大震災の被害状況などを地区ごとに映像にまとめて紹介しており、より深く津波災害を理解することができます。

所在地/末崎町字大浜221-86
電話/0192-29-2161



4 大船渡市魚市場展示室 (魚市場本棟3階)

大船渡と海との関わりを広く紹介する展示室です。

市の基幹産業である水産業や魚市場の仕事について、写真パネルによる解説と模型や実物の漁具などで紹介しているほか、東日本大震災津波による漁港などの被害状況やその後の復旧・復興の状況について、動画や写真、パネルを通じて学ぶことができます。

所在地/大船渡町字永沢209
電話/0192-26-4112



自然災害に備えて、見て聞いて学ぶ大船渡の学習施設



5 大船渡市防災学習館 (漁村センター内) 要予約

震災時、避難所だった漁村センターの一部を当時の状態を残しながら活用しており、東日本大震災津波の記憶や教訓の伝承、洪水や土砂災害といった自然災害について学ぶことができます。パネルや当時の支援物資・防災資機材などを展示し、津波被害や復旧・復興の状況、避難生活の様子のほか、洪水や土砂災害などの恐ろしさや備えなどについて伝えています。見学には予約が必要です。

所在地/赤崎町字山口80-38(漁村センター)
電話/0192-22-9833(赤崎地区公民館)

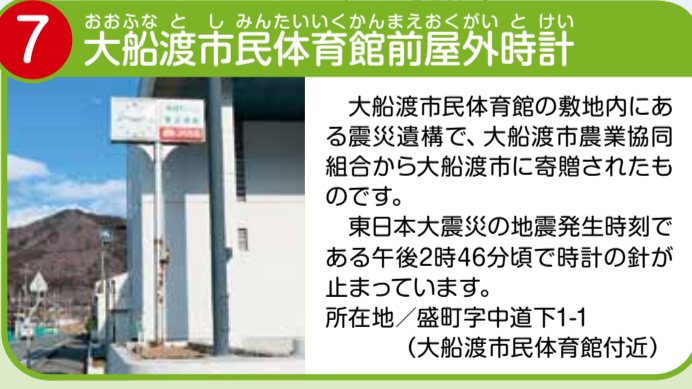


6 大船渡市防災センター

市の防災拠点となる施設で、大船渡地区消防組合・大船渡消防署が入っています。

施設内には、東日本大震災で実際に使用した捜索活動作戦会議用の図面(署員が手作りしたもの)、被害状況や捜索活動時の写真などを掲示しています。また、実際の消防・救命活動のほか、署員による消火体験や煙体験などの防災教育や救命講習などの体験学習を行っています。

所在地/盛町字下館下35-1 電話/0192-27-2119



7 大船渡市民体育館前屋外時計

大船渡市民体育館の敷地内にある震災遺構で、大船渡市農業協同組合から大船渡市に寄贈されたものです。

東日本大震災の地震発生時刻である午後2時46分頃で時計の針が止まっています。

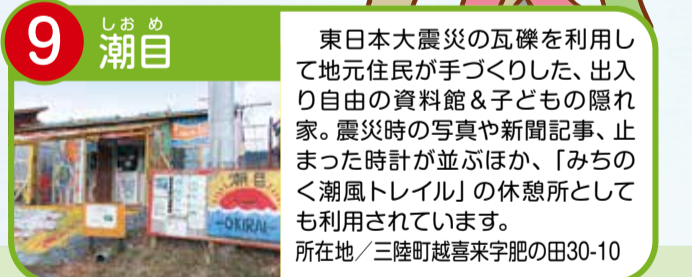
所在地/盛町字中道下1-1 (大船渡市民体育館付近)



8 茶茶丸パーク時計塔 (夢海公園)

中心市街地のシンボルの存在として親しまれていましたが、東日本大震災津波で被災し、時計の針が午後3時25分頃で止まっています。震災の経験や教訓を風化させないよう、震災遺構として夢海公園内に保存しています。

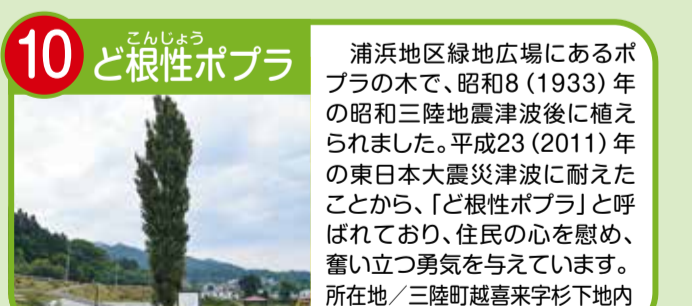
所在地/大船渡町字茶屋前地内



9 しほめ 潮目

東日本大震災の瓦礫を利用して地元住民が手づくりした、出入り自由の資料館&子どもの隠れ家。震災時の写真や新聞記事、止まった時計が並ぶほか、「みちのく潮風トレイル」の休憩所としても利用されています。

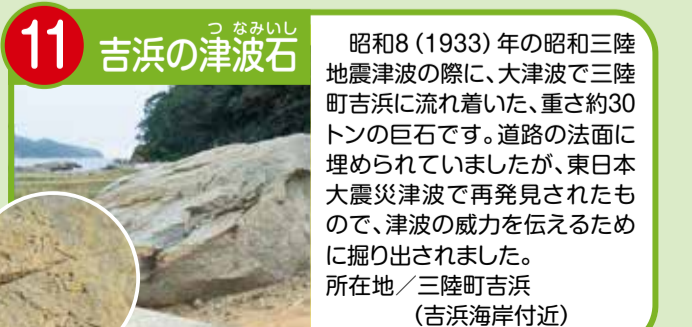
所在地/三陸町越喜来字肥の田30-10



10 どんげ性ポプラ

浦浜地区緑地広場にあるポプラの木で、昭和8(1933)年の昭和三陸地震津波後に植えられました。平成23(2011)年の東日本大震災津波に耐えたことから、「どんげ性ポプラ」と呼ばれており、住民の心を慰め、奮い立つ勇気を与えています。

所在地/三陸町越喜来字杉下地内



11 吉浜の津波石

昭和8(1933)年の昭和三陸地震津波の際に、大津波で三陸町吉浜に流れ着いた、重さ約30トンの巨石です。道路の法面に埋められていましたが、東日本大震災津波で再発見されたもので、津波の威力を伝えるために掘り出されました。

所在地/三陸町吉浜(吉浜海岸付近)